

大腸癌研究会プロジェクト「卵巣転移、単径リンパ節転移の取扱い」

第2回委員会 議事録

日時 平成30年1月25日 14:00-15:00

会場 都市センターホテル 6F 606

出席（順不同、敬称略）

絹笠祐介、杉原健一、賀川弘康、前田耕太郎、佐藤美信、野澤廣彰、白鳥広志、山口茂樹、近藤宏佳、小西毅、塚本俊輔、志田大、上原圭介、向井俊貴、木下敬司、平田玲、進士誠一、大植雅之、瀧井康公、野上仁、衣笠哲史、赤木由人、藤田文彦、藤吉健司、佐藤隆浩、須藤剛、小島豊、園田寛道、北嶋貴仁、川上武志、森脇俊和、西村洋治、合田良政、佐藤純人、池秀之、阿尾理一、新垣淳也

欠席(委員)：高橋慶一(都立駒込病院) 南一仁(松山赤十字病院)

議題

1) 進捗状況報告

- ・大腸癌研究会倫理委員会承認（平成29年9月12日）
- ・新規施設（6施設）：東京医科歯科大学、埼玉国際医療センター、滋賀医科大学、新潟県立がんセンター新潟病院、藤田保健衛生大学、松山赤十字病院
- ・IRB承認 17施設/20施設
- ・CRF回収 15施設/20施設
- ・登録症例数：卵巣転移211例 単径リンパ節転移127例
→予定症例数は上回っている。追加集積の必要性の有無について
欠損データ、データ解析をみて症例数追加について再度議論する

2) CRFにおける問題点について

- ・取扱規約改定により卵巣転移がM1に分類された場合、プロトコルの概要・検討事項を変更する必要性について（前田耕太郎先生）
→取扱規約が変更になるのであれば、それにあわせて検討事項も変更・追加で議論する。

3) CRF追加項目について

- ・卵巣転移・単径リンパ節転移の頻度算出のため、それぞれ対象疾患の症例総数
 - 単径リンパ節転移の背景症例の定義（肛門管 or 歯状線）について（大植雅之先生）
→各施設にてDatabaseが異なるため、Pにかかる直腸癌としてデータを集計
 - 原発手術は期間外で、転移切除が対象期間内になる症例の対応について（佐藤美信先生）
→原発切除の時期が対象期間内の症例を頻度算出の対象とする

4) IRB関連書類のお願い

共同研究承諾書・試料・情報の提供に関する記録について各施設に提出を依頼。

5) 今後の予定

次回委員会までに症例登録終了、データ固定、データ解析を行い、第3回委員会では、データ解析の結果について討論を行う。